

神戸FC ボーイズ 県大会へ 東灘の健闘及ばず

全日本少年大会神戸市予選

第1回全日本少年サッカー大会の兵庫大会神戸地区代表決定戦は6月18日、磯上グラウンドで神戸FCボーイズと東灘の間で行われ、神戸FCが2対1で勝ち県大会への出場をきめた。

選手たちは少年リーグの試合とはちがったふん団気に包まれ、またグラウンドの広さが

御崎少年グラウンドの4倍近くもあるため、かなりの緊張(きんちょう)ととまどいの表情をみせていた。そのせいか試合の内容は必ずしも高いものではなかったが、県大会出場をめざして両チームとも日ごろきたえた力をはげしくぶつけあった。

試合は前半の立ちあがり、パスを受けた溝畑がドリブルから相手バックを振り切って、ゴール右すみにするどいロングシュートをきめてリード。後半も溝畑の右足のシュートが決まって押し気味に試合を進め、ねばり強い東灘の反撃を1点におさえて逃げきった。



溝畑中央のシュートが決まって先取点をあげる(6月18日、磯上)

指導の基本方針を確認

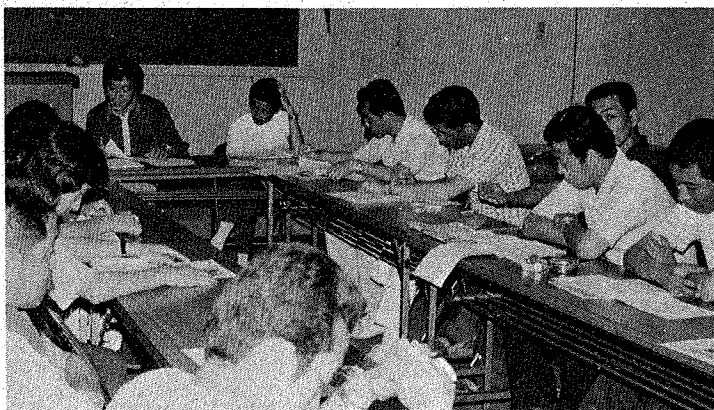
神戸市少年 だが低い参加意識 指導者研修会

6月11日(土)神戸登山研修所で神戸市内の少年指導者を集めて、指導者研修会が行われた。講師はJFAコーチ黒田和生さん(日本協会技術委員会中小部会委員)で、このほど日本協会から試案として発表された「少年サッカー指導教程」をテキストに約2時間にわたって熱心に研修、討論が持たれた。

この教程はこれまでの技術、戦術書とは少し異なり、副題として「年齢に応じた指導のポイント」が付けられており、選手の発育、発達の様相に応じてどの程度の技術、体力、戦術的な理解ができておればよいか、逆にそれらをいつコーチングすべきかを示したもので、指導者必読の書でもある。

これまで全国の少年指導者は経験によって独自にさまざまな指導をしてきたが、日本協会としては初めて全国にその試案を提示したことになる。神戸市でもこれまで多くの人々が少年サッカーの育成に努力してきたが、指導方針の一貫性について、いま一歩先進地域には及ばない。

また、この研修会ではチームが抱える指導上の問題点を持ち寄り、意見を交換した。指導者に比べて少年たちの人数が非常に多い場合の効果的な練習法は、ほとんどの指導者が工夫しているようだが、これにはグッドを使うトレーニングが最も能率的な練習法のひとつであるというヒントが得られた。そのほか、試合に勝つことを強く意識させるあまり、少年時代に習得させなければならぬ神経トレーニングがおろそかになっていないか、あるいは苦手をヘッディング技術を身につけさせるにはどうすればよいかなど内容のある議論が交わされた。



個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として50円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒657 神戸市灘区上野通6丁目3-12 加藤 正信 ☎ 078(861)3100

なお、数人分をまとめて申し込まれる場合は、郵送料の割引がありますのでご連絡ください。

この日は市内の少年チームの指導者全員が出席する予定になっていたが、実際には20数人しか集まらず、このあたりに神戸のサッカー低迷の一面があらわれているような気がする。(加藤 寛)

試合結果速報＝神戸市少年リーグ＝

【6月11日】板宿A 6-0 高倉台B 【6月12日】高倉台A 10-0 神陵台B、成徳A 3-0 高倉台B、神陵台女子4-0 多井畑女子、神戸FC・C 8-0 神戸YMCA・B、板宿1-0 桜宮、蓮池A 14-0 北五葉、丸山B 4-3 蓮池B、神戸FC・A 2-0 丸山A、鶴越A 1-1 北須磨、箕谷A 3-0 板宿B、御影B 1-0 ひよどり台A 【6月18日】蓮池C 2-0 名倉B、蓮池A 4-0 御影A 【6月19日】東灘C 8-0 神陵台C、神陵台A 2-0 千歳A、箕谷B 4-1 鶴越C、東灘B 6-0 御影B、東灘A 2-0 室内、名倉B 2-0 ひよどり台、桜宮5-0 高倉台B、高倉台女子A 1-1 桜宮女子、神戸SS 3-0 高倉台C、成徳C 6-0 御影C、【6月26日】蓮池6-0 渦森、御影C 2-2 神戸FC・D、北須磨2-1 箕谷A、箕谷女子2-0 ひよどり台女子、御影A 3-0 北五葉、蓮池A 女子A 5-0 渦森女子、垂水SS 6-0 神戸YMCA・A 北五葉女子6-0 蓮池女子B。



一年の中間点を折り返した朝、壁にかかっている大きなカレンダーをめくると、白い潮しぶきと大きな海が迫ってきた。七月。梅雨空の向こうには入道雲が出番を待っている。神戸市協会では各委員会が抱える間題点や今後の展望について話しあう機会もあった。まずは少年委員会からスタート。本紙では順次紹介していく予定である。忙しい定例の仕事から離れて、じっくり考えることはとても大切だ。全日本少年大会神戸市予選に参加したのはわずか2チーム。全国大会に出場する場合、交通費などかなりの負担になる。参加チームが少なかったのは費用が大きくなったものと思われるが、少年の年代で日本一の「決勝」をつけることにどれほどの意味があるのだろうか。(ウエノ)



神戸のサッカー

1977 7月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市北区有野台7丁目16-6
〒651-13 ☎ (078) 981-5867
発行人および編集人 加藤 正信
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎ (078) 861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部20円

苦戦の末に兵庫代表を獲得した神戸



神戸 優勝分ける 明石南

全国大会へはPK戦で神戸

高校総合体育大会

兵庫県高校総合体育大会兼全国高校総合体育会兵庫県予選は、5月5日から6月6日まで行われ、神戸と明石南が優勝を分けた。

決勝

神戸 1 0 2 0 延長 0 0 再延長 0 0 明石南 1

決勝は6月6日神戸中央球技場で行われた。神戸が優位に試合を進めたが決定力を欠き、70分間の戦いを終えて1対1の同点。延長に入ったがともに得点を重ねることができず、再延長でも決着がつかず両者優勝となった。その後、全国大会出場を決めるためのPK戦が行われ、神戸にがい歌があがった。

神戸は苦しい戦いの連続だった。2回戦で昨年の覇者長田をPK戦で辛じて下した試合をはじめ、最後まで安心して見ておれなかった。チームの戦力は昨年に比べてぐんと見劣りする。そんな中でひとり気をはいていたのが3年生の厚田。ポジションは左のウィングとなっているが、右サイドの縦へ走ったりゴール前へ鋭く突っ込むなど、活動量では群を抜いている。キープ力にも一段とさえをみせ、全国レベルの力をもっているが、もて前の負けずらいが裏目になると自分のプレーにおぼれるところがある。昨年から課題だった守備も積極的に行うようになり、文字どおり優勝の立て役者としての働きをみせた。

2年生の高浜がよくあった。プレーに落ちつきがみられ、時おり放つ強烈なシュートは効果的だ。GK新谷は神戸高ではまれにみる

【優秀選手】厚田、新谷、高浜(以上神戸) 立花、新居、森、石井(以上明石南) 半田、鍋島(以上県芦屋) 佐藤(市西宮) 岡村、石川(以上須磨) 安富、大住(以上三原) 幸(県尼崎工) 林(兵庫工)

があった。また、試合中に審判のジャッジに対して強い不満を表したり、ゲームを早い時期に投げたりするのは、最近の高校生気質だといって片づけるのは簡単だが、監督の指導にも責任があるのだろう。

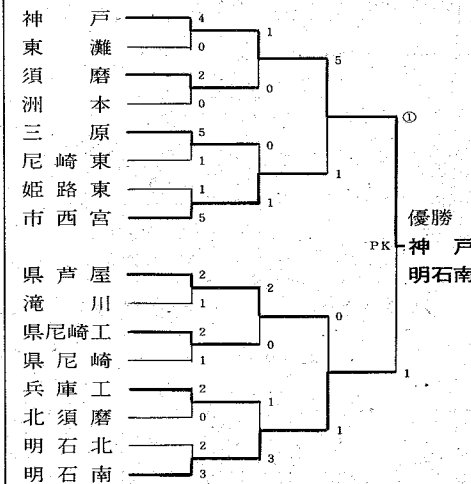
明石勢 頭角あらわす

神戸と優勝を分けた明石南の活躍はりっぱ。チームから受ける印象はそんなに強烈ではないが、守備をしっかりした上で攻撃を展開する。中盤の選手が動きまわってゲームを組み立てる戦法はオーソドックスだが、高校生らしい好感ももてるチーム。長岡監督の地道な指導がチーム内に浸透し、ようやくその実が結ばれようとしている。

須磨は準々決勝で神戸を苦しめ、延長戦で涙をのんだが期待のもてるチームのひとつ。個人的にすぐれた選手がいるので楽しみだが、プレッシャーのかかった試合に勝つとなると、きびしい経験を積みまなければならない。明石北はスケールの大きいサッカーをやり、明石南との対戦ではPKで決勝点を奪われたが、神戸一須磨と並ぶ今大会屈指の好ゲームのひとつだった。

試合結果

(4回戦以降)



のぞまれるレベル、モラルの向上

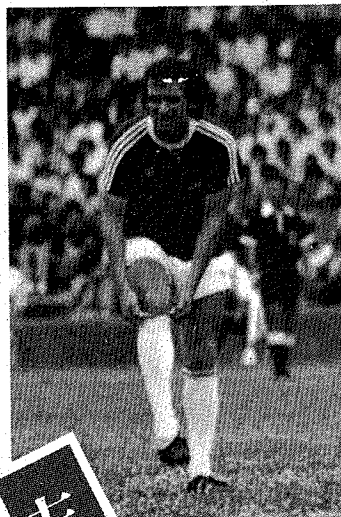
117チームが参加した今大会を振り返ると、兵庫のレベルはかなり劣っていわざるをえない。まず、ボールコントロールが未熟だ。試合の中で自信をもったプレーができないのはボール、敵、味方、ゴール、自分といった5つの関係が十分に理解されていないからだ。それに体力トレーニングの不足もあげられる。キックにしろフェイントにしろ、ボールにさわるその瞬間だけをみると体は必ず「静止」しているが、動きの中で一瞬でも静止のポーズをとることはかなりの体力がいることになる。自分の体をコントロールできないために、つまらないミスがかなり目立った。高校生年齢では体力の強化にもっと多くの時間をさくべきではなからうか。

毎年いわれていることだが、モラルの低下がひどい。スポーツの世界でモラルについて触れなければならないのは情けないが、更衣した後にゴミが散らかっていたり、テニスコートで試合前の練習を平気な顔で行うチーム



神戸の勝利は厚田(左)の活躍に負うところが大きかった。(写真は6月4日、神戸一須磨戦より)

オベラート



ドイツ魂を披露

「2本の弱い足よりも強い1本の足が有利」。神から与えられた黄金の左足で数々の名誉をつかんだオベラートが最後のプレーを披露した。

1 F Cケルンは4年前の印象とは少し違っていた。ラテン的なにおいさえたあの時の柔らかさに比べて、今回のチームはいわゆる“ドイツ的”。そんな中でオベラートだけは変わってなかった。

けるときせかけ、ひょいと足の裏で止める巧妙なフェイントは超一流。日本人と同じ体格でありながら、彼の腰や背骨にはふつうの人よりも多くの関節があるかのように鋭い体のひねりをみせ、日本の選手を軽くいなす。京都の最終戦では、予告どおりの先制ゴールを決め現役最後を飾った。オベラートが静かに去っていった後、ドイツ魂の余韻は今もなお……。

五都市大会近づく

7月15、16、17日名古屋で

神戸、大阪、京都、名古屋、横浜が参加する五都市大会は7月15、16、17の3日間、名古屋で行われるが、選手たちは最後の調整に励んでいる。この大会は五都市の親睦と市民の体育振興をはかる目的で開かれ、今年で28回目。サッカーチームは三菱神戸、兵庫教員が主力となっているだけに大いに期待できる。

古河無敗で首位

兵庫県社会人リーグ前期

兵庫県社会人リーグは5月22日、前期の日程を終え古河金属がトップで折り返した。古河は両ウイングの足を生かしたスピードのある試合を展開し6戦全勝。2位から5位までは勝ち点2の差で4チームが争っている。なお、後期は9月からの予定だが、後期終了時の成績で、上位3チームが11月の関西トーナメント大会へ県代表として出場する。

順位	チーム	古河金属	神戸F C	川崎製鉄	日本触媒	川崎重工	三木F C	ユニオン	勝点	得失点
1	古河金属	○	1-0	5-0	3-2	2-0	1-0	4-0	12	16:2
2	神戸F C	○	○	△	1-0	0-0	1-0	4-0	8	6:1
3	川崎製鉄	○	○	○	△	3-0	2-1	3-2	8	9:9
4	日本触媒	○	○	△	△	0-0	5-0	3-2	6	11:7
5	川崎重工	○	○	○	○	○	1-0	2-1	6	3:6
6	三木F C	○	○	○	○	○	○	3-1	2	4:11
7	ユニオン	○	○	○	○	○	○	○	0	6:19

事業計画決まる

兵庫協会 昨年とほぼ同じ内容

兵庫協会は6月12日、神戸高同窓会館で52年度総会を開き、51年度事業報告、決算の承認をした後、52年度の事業計画と予算を決めた。

【社会人委員会】
天皇杯全日本選手権兵庫大会 4月10日～6月26日
(磯上球技場ほか)
兵庫県社会人リーグ 前期 4月10日～5月22日
後期 9月上旬～10月下旬
(神戸中央球技場ほか)
各地区社会人リーグ 5～12月
(各地区別自主運営)
兵庫選手権大会(兵庫カップ) 9月
兵庫県社会人中央大会 (御崎グラウンドほか)
第58回(53年度)天皇杯全日本選手権兵庫大会 1月末日
申し込み締め切り 2月
組み合わせ抽選会 (神戸) 2月

【大学委員会】
兵庫県大学選抜練習会 8月中旬(神大ほか)
兵庫県大学選抜対抗戦 8月下旬(神戸中央球技場)

【高校委員会】
兵庫県高校総合体育大会 5月5日
兼全国高校総合体育大会兵庫県予選 ～6月6日
(神戸中央球技場ほか)
支部選抜対抗戦 6月18、19、25、26日、7月3、7日
全国高校選手権兵庫大会組み合わせ抽選会 9月28日
全国高校選手権兵庫大会 (神戸中央球技場ほか)
10月29、30日、11月3、5、6、12、13、19、20、23日
2月11、12、18、19、25、26日
(神戸中央球技場ほか)

【中学委員会】
全国中学生大会兵庫県予選 6月18～26日

兵庫県中学校総合体育大会 8月5、6日
兵庫県中学校選手権大会 11月

【少年委員会】
全日本少年大会兵庫県予選 7月3、10日(尼崎)
兵庫県少年選手権大会 11月6、13日(尼崎)

【技術委員会】
国民体育大会選考試会
少年の部
成人の部：一般、教員 6～7月
兵庫県代表選手強化 少年 第1次 7～8月
第2次 9～10月
一般、教員 6～8月

指導者研修、講習会
J F Aリーダ養成講習会 8月下旬
第1次 教員対象
第2次 一般対象 11月～1月
指導者研修会 随時
兵庫県高専技術研修会 6月(神戸)

【審判委員会】
支部審判養成講習会
2級昇格検定、3級認定試験
研修会 7月24、25日、3月6日



一 北 出 席 者	上 柴 加 黒 桜 雷 林
野 田 藤 田 井 松	勝 和 研 幸 男
司 会	田 上 由 雄
田 上 由 雄	二 審 判 長
二 審 判 長	三 審 判 長
三 審 判 長	四 審 判 長
四 審 判 長	五 審 判 長
五 審 判 長	六 審 判 長
六 審 判 長	七 審 判 長
七 審 判 長	八 審 判 長
八 審 判 長	九 審 判 長
九 審 判 長	十 審 判 長
十 審 判 長	十一 審 判 長
十一 審 判 長	十二 審 判 長
十二 審 判 長	十三 審 判 長
十三 審 判 長	十四 審 判 長
十四 審 判 長	十五 審 判 長
十五 審 判 長	十六 審 判 長
十六 審 判 長	十七 審 判 長
十七 審 判 長	十八 審 判 長
十八 審 判 長	十九 審 判 長
十九 審 判 長	二十 審 判 長
二十 審 判 長	二十一 審 判 長
二十一 審 判 長	二十二 審 判 長
二十二 審 判 長	二十三 審 判 長
二十三 審 判 長	二十四 審 判 長
二十四 審 判 長	二十五 審 判 長
二十五 審 判 長	二十六 審 判 長
二十六 審 判 長	二十七 審 判 長
二十七 審 判 長	二十八 審 判 長
二十八 審 判 長	二十九 審 判 長
二十九 審 判 長	三十 審 判 長
三十 審 判 長	三十一 審 判 長
三十一 審 判 長	三十二 審 判 長
三十二 審 判 長	三十三 審 判 長
三十三 審 判 長	三十四 審 判 長
三十四 審 判 長	三十五 審 判 長
三十五 審 判 長	三十六 審 判 長
三十六 審 判 長	三十七 審 判 長
三十七 審 判 長	三十八 審 判 長
三十八 審 判 長	三十九 審 判 長
三十九 審 判 長	四十 審 判 長
四十 審 判 長	四十一 審 判 長
四十一 審 判 長	四十二 審 判 長
四十二 審 判 長	四十三 審 判 長
四十三 審 判 長	四十四 審 判 長
四十四 審 判 長	四十五 審 判 長
四十五 審 判 長	四十六 審 判 長
四十六 審 判 長	四十七 審 判 長
四十七 審 判 長	四十八 審 判 長
四十八 審 判 長	四十九 審 判 長
四十九 審 判 長	五十 審 判 長
五十 審 判 長	五十一 審 判 長
五十一 審 判 長	五十二 審 判 長
五十二 審 判 長	五十三 審 判 長
五十三 審 判 長	五十四 審 判 長
五十四 審 判 長	五十五 審 判 長
五十五 審 判 長	五十六 審 判 長
五十六 審 判 長	五十七 審 判 長
五十七 審 判 長	五十八 審 判 長
五十八 審 判 長	五十九 審 判 長
五十九 審 判 長	六十 審 判 長
六十 審 判 長	六十一 審 判 長
六十一 審 判 長	六十二 審 判 長
六十二 審 判 長	六十三 審 判 長
六十三 審 判 長	六十四 審 判 長
六十四 審 判 長	六十五 審 判 長
六十五 審 判 長	六十六 審 判 長
六十六 審 判 長	六十七 審 判 長
六十七 審 判 長	六十八 審 判 長
六十八 審 判 長	六十九 審 判 長
六十九 審 判 長	七十 審 判 長
七十 審 判 長	七十一 審 判 長
七十一 審 判 長	七十二 審 判 長
七十二 審 判 長	七十三 審 判 長
七十三 審 判 長	七十四 審 判 長
七十四 審 判 長	七十五 審 判 長
七十五 審 判 長	七十六 審 判 長
七十六 審 判 長	七十七 審 判 長
七十七 審 判 長	七十八 審 判 長
七十八 審 判 長	七十九 審 判 長
七十九 審 判 長	八十 審 判 長
八十 審 判 長	八十一 審 判 長
八十一 審 判 長	八十二 審 判 長
八十二 審 判 長	八十三 審 判 長
八十三 審 判 長	八十四 審 判 長
八十四 審 判 長	八十五 審 判 長
八十五 審 判 長	八十六 審 判 長
八十六 審 判 長	八十七 審 判 長
八十七 審 判 長	八十八 審 判 長
八十八 審 判 長	八十九 審 判 長
八十九 審 判 長	九十 審 判 長
九十 審 判 長	九十一 審 判 長
九十一 審 判 長	九十二 審 判 長
九十二 審 判 長	九十三 審 判 長
九十三 審 判 長	九十四 審 判 長
九十四 審 判 長	九十五 審 判 長
九十五 審 判 長	九十六 審 判 長
九十六 審 判 長	九十七 審 判 長
九十七 審 判 長	九十八 審 判 長
九十八 審 判 長	九十九 審 判 長
九十九 審 判 長	一百 審 判 長

組織の見直しを

田上 神戸の少年サッカーはますます盛んになってきております。少年を指導していく場合、指導者の個性が出てくるのは当然ですが、神戸市としてあるいは日本全体としての基本的な方針を各クラブに徹底させることが必要です。それには協会の組織が必要で、それが協会の組織が大切になってきますが……。

一北 少年サッカーの育成が組織で行われる前は、とにかく子供たちにボールをやらせようという気持ちで、日本の代表選手に育てたという考えはあまりなかったようです。ところが外国の事情がはつきりするにつれて、小さいころからボールに親しませることの重要性が理解され、少年サッカーを育てる地盤や

組織がしっかりしてきました。上野 子供たちはボールをさわった時の感激や、初めてゴールを決めた喜びからサッカーを一生懸命やってやろうという純粋な夢をもっている。それがずっと持ち続けられるような環境を用意してやるのが協会の使命の一つです。加藤 少年委員会は総務、技術、審判の3部門に分かれています。神戸市協会の中には技術、審判などの委員会があるわけですが、少年委員会の技術や審判の担当者が協会の技術、審判委員会の構成メンバーになることがぜひ必要だと思っています。逆にいえば、技術や審判委員会の中にも少年、中学、高校、社会人の担当者がいるということになります。そうして縦と横のつながりを強化することが、協会の機能を十二分に発揮する上で大きな力となるはずなんです。

一北 神戸市協会の発足当時を振り返ってみると、自然発生的にスタートしたくらいのもあるので、規模が大きくなつた今、その問題についてはじっくり取り組んでいく考えです。

貴重な母集団の存在

田上 組織という場合、協会内の問題のほか少年チーム



少年は小さな大人ではない。無限の可能性を秘めた次代の主役だ。大人のものさしでは計りきれない何かがある。

の母集団(少年選手の父兄)が組織する後援会のようなもの。存在を見逃すことはできません。現状はどうでしょうか。桜井 小学校では正式なクラブ活動はないわけですが、学校の協力を得て先生がチームをつくっているところのほか、最近では選手の父兄がパ

ッアップしているケースもかなり多くなっています。富松 母集団があることはとても貴重です。母集団がなくて先生ひとりが切りまわしているチームでは、先生が急に転勤になった時、チームが消えてしまう恐れがあります。林 私のところでもこれまでの実績から、父兄の方々のご理解が得られるようになり

ました。柴田 教師がめんどろをみている場合は、どうしても学校教育の一環として受けとられ、母集団を組織しようとする動きは起こりにくいようです。その問題に悩んでいる指導者はかなり多いと思いますので、母集団の育て方などの

資料がほしいですね。加藤 チームの母集団の考え方をもちと発展させて、全少年チームの父兄あるいは有志の方々が集まって、たとえば「神戸の少年サッカーを育てる会」のような大きな母集団を組織することはできないものでしょうか。私は総務を担当して、大会のたびに運営費を一北理事長が市内のス

ポーツ品業者にお願いにあがっていますが、少年の場合は社会人たちが、少年の場合は「神戸の少年サッカーを育てる会」(少年)負担という形はどうしても限界があります。神戸市全体の少年サッカーを支える母集団があれば、大会やサッカー教室などもより以上に充実したものになると思うのです。

神経トレーニングが中心

田上 次に指導法あるいは少年の技術の面について考えてみましょう。

富松 乱時代時代の今日ではスポーツをやること自体に意義があるという言い方もできますね。

桜井 そうです。小学3、4年生で大人の運動神経の9割方が完成されるといいますから、その意味でもサッカーに限らず、スポーツの働きは大きいものがあります。

富松 最近の子供は、勝負に對してたんぱくになってきているような気がします。

一北 子供は勉強に命をかけているので、スポーツとは勝負したくないのか、(笑い)

田上 神戸の指導方針を整理しますと「あせらず、ゆつくり、ていねいに」育てることがベースになっています。小学時代はあくまで神経トレ

やれるものから着実に

柴田 いろいろな問題が出てきたが、やれるものから手を加えていかなければならぬ。私はパークスキームに工夫があるように思いますが、現在神戸市全体の少年を対象としていますが、これを区単位でやってみてはどうでしょうか。北区では今すぐからでも始める用意があります。そうして顔をあわせているうちに少年の仲間もふえ、各チームでの指導とは違ったよい面が生まれてくるかもしれません。

一北 母集団に関する資料をまとめて、指導者に配布することはできませんか。

田上 少年委員会です。そ

黒田 指導者の研修会や講習会を多く開催していますが、必ずしも充実しているとはいえません。指導者の質と量はまだまだ拡充していく余地が残されていますので、この方面でも委員会は力を入れていく必要があります。

田上 本日は貴重なご意見を伺うことができました。これからも少年サッカーの発展のため、よろしく協力をお願いいたします。どうもありがとうございました。(今回は高校委員会の予定)

少年のサッカー

ゆつくりあわてず

神戸市協会座談会(1) 少年委員会

資料がほしいですね。加藤 チームの母集団の考

え方をもとと発展させて、全少年チームの父兄あるいは有志の方々が集まって、たとえ

ば「神戸の少年サッカーを育てる会」のような大きな母集団を組織することはできないものでしょうか。私は総務を担

当して、大会のたびに運営費を一北理事長が市内のス

ポーツ品業者にお願いにあが

っていますが、少年の場合は

社会人たちが、少年の場合は

「神戸の少年サッカーを育て

る会」(少年)負担という形は

どうしても限界があります。

神戸市全体の少年サッカーを

支える母集団があれば、大会

やサッカー教室などもより以

上に充実したものになると思

うのです。

田上 次に指導法あるいは少

年の技術の面について考え

てみましょう。

富松 乱時代時代の今日では

スポーツをやること自体に意

義があるという言い方もでき

ますね。

桜井 そうです。小学3、4年

生で大人の運動神経の9割が

た完成されるといいますから

、その意味でもサッカーに限

らず、スポーツの働きは大き

いものがあります。

富松 最近の子供は、勝負に

對してたんぱくになってきて

いるような気がします。

一北 子供は勉強に命をかけて

いるので、スポーツとは勝負

したくないのか、(笑い)

田上 神戸の指導方針を整理

しますと「あせらず、ゆつ

くり、ていねいに」育てるこ

とがベースになっています。

小学時代はあくまで神経トレ

ニングが中心になるべきで

しょう。

一北 全くその通りです。そ

して中学で連係プレーを含

めた頭脳トレーニングを、高

校では体力を鍛えることに

よって、優れた選手が生ま

れるようになります。

上野 指導者は注意をたく

さん与えれば指導の効果があ

るように自己満足しがちで

すが、実際には指導者のサッ

カーに対する情熱や人が自ら

然な形で子供の心に深く浸透

していった時、初めて指導が

実ののだと思います。

加藤 少年の指導ではオー

バリーニングにならないよ

う注意する必要があります。

ゲームから入って、とにかく

サッカーが楽しいと思わせる

ことが重要です。その上でド

リブル、パスなどを具体的に

教えていけばよいのです。

黒田 各地の少年サッカー

の実情をみてきて熱心な指導

者がたくさんおられますが

神戸も決してひけをとらず

せん。子供を決してひけをと

とするクールの情熱は、神戸

はともしつかりしています。

ただ、サッカーをどんな欲に

吸収しようという気持ちを、子

供たちに植えつけるのはこれ

からの課題です。

田上 林さんは十数年前

から少年たちと接しておられ

た少サッカー指導の草分け

の存在ですが、指導のポイン

トはどんなことでしょうか。

林 特別なことはありません

よ。ただ、ほつたらかしてい

るだけです(笑い)。あくまで

自由によらず、ボールをもて

る時は相手をついてゴールを

めざせ「ゴールこそサッカー

のすべて」だと言いきかせて

おります。